



深谷中だより



NO. 241

令和8年6月30日

横浜市立深谷中学校

校長 宮内 浩一

「体育祭で深めた絆」

梅雨の合間に見える青空が、夏の近づきを感じさせる季節となりました。保護者の皆様・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、6月12日に実施いたしました第46回体育祭では、生徒たちのひたむきな努力と成長の姿が随所に見られました。大縄跳びでは回数を重ねるごとに息が合い、仲間と声を掛け合いながら挑戦する姿が印象的でした。互いに励まし合い、最後までやり遂げようとする姿勢に、大きな成長を感じました。また、ソーラン節では力強い掛け声とともに、全身を使って表現する姿が観客の心を打ちました。演技直前には3年生が中心となって参加生徒に全員に声をかけ、校庭に1つの巨大な円陣を組み、気持ちを一つにする場面がありました。長年教員生活を送ってきた私にとっても、学年やチームの壁を越えて全体が一致団結する姿は初めてであり、感極まるものがありました。練習から本番に至る過程の中で、生徒たちは「仲間と心を合わせる事」の大切さを実感したのではないのでしょうか。

体育祭を通して得た経験は、勝敗の結果以上に価値のあるものです。仲間と協力することの喜びや、努力を継続することの大切さは、今後の学校生活や人生のさまざまな場面で生きてくるでしょう。生徒一人ひとりが自分の役割を果たし、全体として大きな成果を作り上げる姿に、本校の誇りと未来への可能性を感じています。

6月24日には進路説明会を開催し、保護者の皆様にご参加いただきました。説明会では、高等学校のさまざまな種類（普通科・専門学科・総合学科など）や、それぞれの特徴、入試方法の違い等について説明を行いました。推薦入試や一般入試、さらには近年広がりを見せている多様な選抜方法について理解を深めていただくことで、ご家庭において進路について考える一助となれば幸いです。進路選択は、お子様の将来を見据える大切な節目となります。今回の説明会をきっかけに、ご家庭でも進路について話し合う機会を持っていただき、お子様が自分に合った道を主体的に選択できるよう支えていただければと考えております。本校としても、一人ひとりの希望や適性に応じた丁寧な支援を行ってまいります。

これから暑さも厳しくなってきました。体調管理に十分留意しながら、充実した学校生活を送ることができるよう、教職員一同支援してまいります。今後とも本校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



深谷中学校 人権標語

『人「を」笑うよりも、人「と」笑おうよ』